

部局名

国際連携センター

担当：伊藤健一准教授



テーマ

宮崎大学履修証明プログラム「宮崎大学420単位時間日本語教員養成プログラム」

特色ある取組

「宮崎大学420単位時間日本語教員養成プログラム」は、日本語教育機関の告示基準に規定する日本語教員の要件として、国立大学で唯一の日本語教員養成研修（文化庁届出受理番号：R01062645001）であり、社会人に開かれた履修証明プログラム。また、文部科学省の職業実践力育成プログラム（BP）に認定された、唯一の日本語教員養成研修でもある。

（2021.12現在）

文化庁指針の3領域・5区分・16下位区分、及び50必須項目に対応している。また、420単位時間のうち、200単位時間以上を「言語教育法・実習」に充てており、理論だけでなく、教育実践能力に重点を置いている。

通学制ながら、社会人や学生、遠隔地（宮崎県内）等の受講者に広く対応するため、対面講義は全てハイブリッド講義としており、オンラインでの双方向型遠隔受講が可能となっている。加えて、忙しい社会人の学習継続を支援するために、全講義について録画を行い、オンデマンド補講の機会を設けている。



Brush up Program
for professional

取組の様子



期待できる成果・評価 など

労働者を含む海外からの来住者の急激な増加により日本語教育・支援と日本語教育人材のニーズが高まる一方、宮崎では日本語教員養成研修が無く人材が不足していた。2019年に本プログラムを設置以降、40名以上が修了し、既往のニーズが高かった海外の学校等だけでなく、地域に根差した在住外国人向け日本語教室等や、小学校における外国人児童の日本語支援等で活躍している。

日本語教育人材の養成により、在住外国人の公共サービスの享受や外国人児童の学校等での学習等に対する支援等が進むだけでなく、異文化理解を知る人材が地域社会に増えることで地域の多文化共生が促進されることが期待される。

参考URL

宮崎大学420単位時間日本語教員養成プログラム website: <https://jltec.vss.miyazaki-u.ac.jp/>